Ecology of Mankind (研究会・才6回)

1959. 5. 26
1:30 ~ 5:30

出席者： IMANISI, UEYAMA, HUZIOKA, KAWAKITA, ITANI, IIZIMA, TANI, SIMURA, IWATA, ISIKAWA, , WAZAKI (記録)

今日のMeetingの内容：—— Steward, J.H: Theory of Culture Change (1955), Steward & others: (Simposium) Irrigation Civilizations (1955) の紹介, 討論.

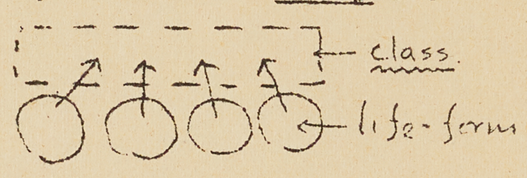
次回の予定(6月)：—— 6月9日 Lowie, R.H (信)
Engels, F. (石川)
Frazer, J. G. (藤岡)

6月23日 西アフリア (岩田)
東南アジア (藤岡)

そろそろ執筆分担をきめてかかること.

►(例により 発言をおってまとめておく.) ▽

○ (Im) 今後 Steward 説に対する反証と, 研究会での結論とを区別しておくことが必要だ.
one-layer community の実例 (例えば川喜田隊の Tunje) がでてほしかった.
one-layer でも life form がまじっていてもよい. class 構造がなければよい. class とは下戸からスイアゲてその上にアグラをかいている class をいう.



○ (Iz) Tsarka (チベット人部落) の例. (省)

○ (Im) 結局 one-layer でも構造はあるが, それが intra-com. から inter-com. にうつる時, 次の stage にうつるキッカケは何か, が問題であって, Steward はあつかっていない.
Note: ニホンザルのムレにも hierarchy がある. しかしそれ以上の organization はできない.

▽

○ (Im) Irrigation Civilization (Steward) の発展形式:
Data: Mesopotamia, Peru, Mesoamerica, China (Wittfogel)

Steward の説 — Irrigation は ① いくつかの community にまたがった地域 と ② その間の共存 とが前提になる. そして それの結果 社会構造が高度に発展する必要があり, 同時に irrig. によって productivity が飛躍的に高まり, その発展を支える. 又人口収容力もふえ, その surplus により農業以外にたずさわる人間ができて, 社会は多様化する.

Schema 1

militaristic expansion
regeonal florescence
formative
incipient aggriculture.

Schema 2

Militaristic irrig. state (= Empire)
Theocratic trade st.
Theocratic irrig. St.
Formative stage
ⓒ
Incipient Agriculture
ⓑ

Steward は Schema 1 でスタートしたが, 国家形成に irrig. のでない Mesoamerica の型式を schema 2 ⓐ でつけくわえた.

○ (Im) しかしなぜ incipient agriculture から state になるときに theocratic でなければならないか.
(Steward ではつかめない.)
(ただし. Theocr. から Milit. が生ずる process はわかる.)

又 hunting gathering の時代から存在していたと考えられる ~~Sch~~shaman が, いくつかの community にわたった宗教になるとき, どんな説明ができるか.

○ (Kw) Tibet の場合. 今の schema の逆. —— Milit. から Theocr. えとたどった.

▽

○ (Im) Theocr. ⟶ Milit. 又は Milit. ⟶ Theocr. のどちらも可能である事を理解するために一つの Hypothesis を立てよう.

〔一本立ての Hyp.〕 人間生活にははじめから (a) Religeous な面と (b) Polytical な面があって, primitive stage の community には
① Religeous function と ② Polytical power
とが by-chance であらわれ, それが theocrat. や milit の形態を具えたと考える. 又 ③ Economical function は対立勢力でなく, 常に dominat なオにつく傾向がある.

Note: ・征服国家の場合は, upper class が武力でかぶさる ⟶ Polyt. pow. がカツ.
・Mesoamerica の場合, Steward は "trade" で説明した.

Kyoto University

Ecol. of Mankind. (No.6, 1959. 5. 26)

▽

○ (Im) 問題は incipient farm. から上ってくるとき，①②どちらが先にでるかわきまっていない．

○ (Uy) Steward が theocratic といったのは ある stage についていったのであって，こゝでは単戸でなく複戸社会を統一するものとしての religion を問題にすべきである．

○ (Hu) これは宗教一般ではない．
Frazer の考え方なら，ゆくゆくは Power がかつ．だから ①② が早く分離したところに Milit. state ができる．

○ (Im) Steward では，inter-community の関係にむすばれてゆくところはふれない．

その関係をむすびつけるものとして，shaman を考える．もともと バラバラの community にあったものだが，一種の神 という考えが強ければ，もうそれは「自分の community に属するかどうか」は問題でなくなる．これがいくつかの community でおしよげられ，制度化し theocrat. になってゆくと考える．

Note: サルに shaman はいない．

○ (Kw) 将来でもなおこの二本立ては可能で，Toynbee のように，Polyt. が先行して世界協会ができ，そにより Rel. な統一が生れることもあろう．

▽

○ (Im) Tibet は現在まで theocratic できた．
このような stage は religeous function が安定していると考えられる．（Empire の間にある Dark Age）

○ (Uy). 二本立てには賛成できない．

○ (Im) これはむしろ才工部の問題である．
人間には，人間の進化にかかわらず，二つのものがあり，そのいみでいつかまた必ず Dark Age がやって来ると考える．

○ (Hu) 人間の自己同一性＝安定性 —— religeon の方向．

▽

○ (Im) Incipient Farm. から次の段階にでたとき，Irrigation がどうしても必要か？
Steward はそれを仮定したが，われわれは Ecology の立場から，必ずしも必要ではない．即ち
productivity —— 必ずしも irrigation にむすびつくことはない．（作物等）
人間の組織化 —— 宗教による人間の心がむすびつきをつくる．

○ (Uy) しかし Steward に資料を与えた Wittfogel は Oriental Despotism に着目し，①強大な国家枠力 と ②小さい私有枠 からみて．Europe の analogy ではゆかない点が重要だ．
又，国家枠力の分有で class がきまり，大地域 irrigation がある．----
Wittfogel は，このような国家形成の条件に irrig. があるとした．

○ (Im) 「ミナ」は theocratic か？

○ (Hu) 古代「イン」帝国はたしかにそうだ．—— ウラナイ師のこと．

○ (Im) ・Empire は興亡し，宗教は生きのびる事実をどうみるか？
・どこから団結が生れるか？ —— 寺呼び，
・なぜ theocratic から Empire にならねばならないか —— Steward は irrig. の限界を征服でやぶるととく．

○ (Kw) Mesopotania の場合は最後に回教がでて，もう一つ広い宗教圏をつくったのは theocratic か？

○ (Im) 日本の例，仁徳陵の広大さは polyt. の表現か，theocrat. のシムボルか．

○ (Hu) 純粋には Policy ではないだろう．

○ (Im) 問題は，いくつかの commity が一つの center に統合される場合に，milit. conquer でなくて rel. な統合があれば，各 commity の rel. と center の Rel. ではすでに center の方が質が高くなければ integrate するかは考えられない．（theocratic center の rel. は higher である．）

○ (Kw) そこに theocracy が ① 階級分離をおこす力となるか ② 階戸間の channel をつける力となるかどちらかだ．

○ (Im) ボクの class とは 生産に従事せず surplus によって力きてゆく集団（僧・軍人等）をいう．だから階戸分離は問題でなく，むしろ交流を前提としている．

▽

○ これまで6回あでのまとめ．　One layer はすんだ，two layer に入る．living 方向をひろうこと

	irrig.	non-irrig.
theocratic		
militaristic		
[illegible]		

以上（Wozaki 記）

Moret & Davy: From tribe to empire. London, 1926

Kyoto University